

人類の出現と文明ブリン

名前

- 問1 古代において、ナイル川の定期的な増水によってできた肥沃な土地を利用して発展し、象形文字や太陽暦を生み出した文明は何ですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. インダス文明 2. エジプト文明 3. 中国文明 4. メソポタミア文明
- 問2 弥生時代に現れた青銅器と、奈良時代に現れた和同開珎。これら2つの資料の使われ方や目的の違いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 青銅器は狩猟の道具として実用的に使われたが、和同開珎は死者を弔うための副葬品として使われた。 2. 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。 3. 青銅器は大陸との貿易を円滑にするための通貨であったが、和同開珎は国内の物々交換を禁止するために作られた。 4. 青銅器は稲作の収穫効率を高める農具として使われたが、和同開珎は寺院を建立する際の地面を固める材料として使われた。
- 問3 古代のエジプト文明、メソポタミア文明、インダス文明、中国文明の四つの文明について、その成立に共通する地理的条件を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 季節風の影響を強く受ける東アジアの沿岸部でのみ成立した 2. イスラム教の教えを共通の精神的基盤として砂漠地帯で発展した 3. 天体観測に基づき、すべての文明が太陽暦を主な暦として使用した 4. 農耕に適した肥沃な土地が得られる大河の流域で成立した
- 問4 西アジアのチグリス川とユーフラテス川という2つの大河の流域で栄えた古代文明について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 黄河流域で青銅器が作られ、亀の甲羅などに刻まれる甲骨文字が使われた。 2. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。 3. チグリス・ユーフラテス両河の流域で、粘土板に刻まれるくさび形文字が発達した。 4. インダス川流域で、下水道などの設備を整えた計画的な都市が建設された。
- 問5 日本で小野妹子が遣隋使として派遣された607年頃を含む7世紀初めに、アラビア半島でムハンマドによって創始され、その後の世界の歴史に大きな影響を与えた宗教は何ですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
1. 仏教 2. イスラム教 3. ユダヤ教 4. キリスト教
- 問6 1789年に勃発したフランス革命の過程で採択され、近代民主主義の基礎となった宣言があります。この宣言の第1条で「人は、自由かつ権利において平等なものであるとして生まれ、生存する」と記され、第3条で「すべての主権の根源は、本質的に国民にある」と示されている文書の名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 独立宣言 2. 人権宣言 3. マグナ・カルタ 4. 権利の章典
- 問7 古代文明とその特徴を説明した文として、ナイル川流域で栄えた文明に当てはまるものはどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 黄河や長江の流域で起こり、甲骨文字や青銅器が作られた。 2. インダス川の流域で栄え、モヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が造られた。 3. 定期的な増水を利用して農耕を行い、太陽暦や象形文字が作られた。 4. チグリス川とユーフラテス川の流域で発展し、太陰暦や楔形文字が使われた。
- 問8 アフリカのナイル川流域で発展した古代エジプト文明において、川の定期的な増水を予測し、農作の時期を正確に把握するために作成された暦（こよみ）を何といいますか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 太陽暦 2. 二十四節気 3. 太陰暦 4. グレゴリオ暦
- 問9 ムハンマドがメッカでイスラム教の布教を始めた当初、現地の富裕層や権力者から激しい迫害を受けた理由として、最も適切な背景を説明したものを選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 神の前ではすべての信者が平等であると説いたから 2. 王を神の化身として崇拝することを強制したから 3. 特定の身分の人だけが救われるという教義だったから 4. 偶像崇拝を強く推奨し、古い寺院を壊したから
- 問10 安土桃山時代に行われた朝鮮侵略（文禄・慶長の役）に関連して、日本の伝統的な陶芸技術が大きく発展した理由として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。 2. 聖武天皇が保護した正倉院の宝物を手本にして作られたから。 3. 明から勘合を取り寄せて質の高い陶磁器を大量に輸入したから。 4. 渡来人が大陸から新しく須恵器の作製技術を日本に伝えたから。
- 問11 古代のイタリア半島を中心に発展したある国家の歴史的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. イタリア半島を拠点としながらも、共和制を経験せずに最初から強力な皇帝による専制政治が行われた。 2. 紀元前6世紀に共和制が始まり、地中海沿岸の広い地域を統一して巨大な帝国へと発展した。 3. 紀元前6世紀に直接民主政を確立し、地中海統一後も小規模な都市国家の連合体を維持した。 4. 地中海東岸で興り、シルクロードを通じて中国の長安と直接的な政治同盟を結んでいた。
- 問12 古代中国の黄河文明で用いられた「甲骨文字」について、その特徴や歴史的背景を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. シュメール人が粘土板に刻んだ文字で、のちに周辺諸国へと広まった。 2. エジプトでパピルスという紙に書かれた文字で、王の業績を記録した。 3. フェニキア人が考案した表音文字で、のちのアルファベットの基礎となった。 4. 亀の甲羅などに占いの結果を記したもので、現在の漢字の起源となった。
- 問13 7世紀に成立したイスラム教の教えや特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. シャカ（釈迦）がインドで修行の末に悟りを開き、生老病死などの苦しみから逃れる道を説いている。 2. 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。 3. 孔子が戦乱の世を収めるために、家族の道徳である「仁」や社会の決まりである「礼」を説いている。 4. パレスチナでイエスが説き始め、すべての人間を愛する「隣人愛」と神による救済を強調している。
- 問14 18世紀後半から20世紀前半にかけてオーストラリアを統治し、メルボルンの街並みに見られるような石造りの建築物やキリスト教の教会といった、ヨーロッパの都市に見られるような景観を形成する要因となった国はどこですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
1. アメリカ合衆国 2. ポルトガル 3. イギリス 4. オランダ

答え合わせ・解説

問1	答え 2 エジプト文明	ナイル川の流域で発達したエジプト文明では、定期的な増水後の肥沃な土を利用して農耕が行われ、象形文字（ヒエログリフ）や太陽暦が作られました。
問2	答え 2 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。	弥生時代の青銅器（銅鐸、銅剣、銅矛など）は、当初は武器の形をしていましたが、次第に大型化し、豊作を祈るなどの祭りの道具として用いられるようになりました。一方、奈良時代の和同開珎は、律令制のもとで国家の経済的基盤を固め、都の造営などの支出をまかなうために発行された貨幣です。資料の用途の変化は、単なる道具の進化ではなく、社会の仕組みが「村の共同体」から「統一国家」へと発展したことを示しています。
問3	答え 4 農耕に適した肥沃な土地が得られる大河の流域で成立した	四大文明はいずれも、ナイル川、チグリス・ユーフラテス川、インダス川、黄河・長江といった大河の周辺で誕生しました。これらの地域では、河川の氾濫によって運ばれる肥沃な土壌を利用して大規模な農耕が可能になり、食料生産が安定したことで人口が増え、国家や文明が形成されました。東アジアに限られた特徴ではなく、イスラム教の成立は文明誕生よりはるか後の時代のことです。
問4	答え 3 チグリス・ユーフラテス両河の流域で、粘土板に刻まれるくさび形文字が発達した。	メソポタミア文明は、現在のイラク周辺を流れるチグリス川とユーフラテス川の間に広がる地域で発展しました。この地域では農耕や商業が盛んに行われ、その記録を残すために粘土板にくさびのような形の文字を刻む「くさび形文字」が発明されました。また、天文学や数学も高度に発達し、農作業や儀式の目安となる暦が整備されました。
問5	答え 2 イスラム教	ムハンマドは7世紀初めに唯一神アッラーの啓示を受けたとして、アラビア半島のメッカでイスラム教を開きました。この時期の日本は飛鳥時代にあたり、聖徳太子（厩戸王）が隋（中国）へ小野妹子を派遣して大陸の制度を学ばせ、中央集権国家の確立を目指していた時期と重なります。
問6	答え 2 人権宣言	フランス革命の中で国民議会によって採択されたこの宣言は、封建的な身分制度を否定し、自由・平等、主権在民、私有財産の不可侵など、近代市民社会の原理を確立しました。アメリカの独立宣言（1776年）やイギリスの権利の章典（1689年）としばしば比較されますが、フランス革命という背景と、特に「主権が国民にある」ことを強く打ち出した点が特徴です。
問7	答え 3 定期的な増水を利用して農耕を行い、太陽暦や象形文字が作られた。	ナイル川流域で栄えたエジプト文明では、定期的にかかる川の増水を利用して農業が行われ、太陽暦や象形文字が発明されました。その他の選択肢は、メソポタミア文明、インダス文明、中国文明の説明となります。
問8	答え 1 太陽暦	ナイル川は毎年決まった時期に増水し、周囲に肥沃な土壌をもたらしました。この氾濫の周期を把握することは、農業を行う上で極めて重要であったため、天体の動きを観察することで1年を365日とする太陽暦が考案されました。これは後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。
問9	答え 1 神の前ではすべての信者が平等であると説いたから	イスラム教は、神の前での平等を説き、貧しい人々への施しを重視しました。この教えは、商業によって利益を独占し、身分格差を維持しようとしていたメッカの富裕層にとって、既存の社会秩序を脅かす危険な思想とみなされたため、厳しい弾圧を受けることになりました。
問10	答え 1 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。	安土桃山時代に豊臣秀吉が行った朝鮮侵略の際、連れてこられた朝鮮の陶工たちによって有田焼や薩摩焼などの優れた陶芸技術が日本に伝わり発展しました。勘合貿易は室町時代、須恵器の伝来は古墳時代、正倉院は奈良時代の出来事となります。
問11	答え 2 紀元前6世紀に共和制が始まり、地中海沿岸の広い地域を統一して巨大な帝国へと発展した。	この国家は、紀元前6世紀末に王を追放して共和制を開始しました。その後、ポエニ戦争などの有力な敵対勢力との戦いを経て、イタリア半島から地中海全域へと領土を拡大しました。紀元前1世紀末には、それまでの共和制から、実権を握る皇帝が統治する帝政へと移行し、長期間にわたる平和と繁栄を享受することとなりました。
問12	答え 4 亀の甲羅などに占いの結果を記したもので、現在の漢字の起源となった。	甲骨文字は、紀元前1600年ごろの殷（商）の遺跡から発見された文字です。主に占いという宗教的な儀式的記録のために用いられましたが、その形や構造がのちの時代の漢字へと直接つながっている点が大きな歴史的意義を持っています。他の選択肢にある楔形文字（メソポタミア）やヒエログリフ（エジプト）とは成立過程や地域が異なります。
問13	答え 2 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。	イスラム教はムハンマドによって創始され、神の前での平等を説きました。また、信仰の告白、礼拝、喜捨、断食、巡礼という「五行」に代表されるように、生活と宗教が密接に結びついているのが特徴です。他の選択肢は、順にキリスト教、仏教、儒教の説明です。
問14	答え 3 イギリス	オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となり、入植が進められました。その過程で、宗主国であるイギリスを中心としたヨーロッパの文化や建築技術が持ち込まれたため、現在もメルボルンなどの都市部には重厚な石造りの建物や教会が数多く残されています。